




# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 愛媛県 】

学校名【 松山市立八坂小学校 】

1 実践テーマ	Ⅲ・Ⅴ
2 実施対象者 (学年・人数)	第4学年 21人 第5学年 22人 全校児童 131人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(総合的な学習の時間・外国語科・図画工作科) ② 行事名(もうすぐオリパラ! ようこそ八坂小集会) ③ その他( ) (2) 地域における活動 ① イベント名( ) ② その他( )
4 目標 (ねらい)	(1) 調べ学習やオリンピックの講演を通して、オリンピック・パラリンピックへの興味や関心を高めるとともに、スポーツの楽しさや健康管理の大切さに気付く。 (2) パラリンピック競技の体験活動を通して、スポーツの楽しさや難しさ、障がいがある人の生き方について知るとともに、学んだことを自分の生活に生かそうとする。
5 取組内容	(1) 「もうすぐオリパラ! ようこそ八坂小集会」〈全校集会〉 オリンピック5大会連続出場、日本ボート競技の第一人者である武田大作氏を招き、全校集会を行った。講演では、正しい姿勢や体幹を鍛える簡単なトレーニング方法を実際に行いながら、アスリートとしての体と精神の作り方について教えていただいた。   

(2) 東京オリンピック・パラリンピックを応援しよう！

<5年：総合的な学習の時間・外国語科・図画工作科・道徳>

オリンピック・パラリンピックについて、自分が興味のあることを課題に設定し、インターネットや図書資料を使って、調べ学習を行った。調べた内容を発表資料にまとめ、お互いに情報・感想交流を行った。

外国語「My Hero」の単元で、憧れのアスリートを紹介し合った。事前に調べたことを、学習した英単語を活用しながら英文にし、ALTに向けて発表した。

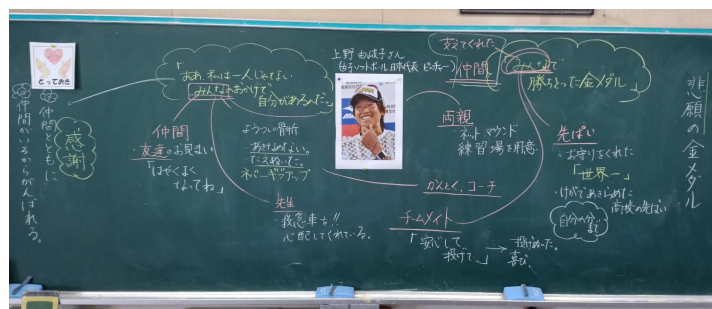
図画工作科では、憧れのアスリートの切り絵、オリンピックシンボルのちぎり絵を制作した。



発表資料や作品は、オリンピックやパラリンピックについてあまり知らない下学年にも興味をもってもらえるように、校内に掲示した。




道徳の時間では、「悲願の金メダル」の題材を通して、上野由岐子さんや上野さんを支えた人々の思いに迫った。



(3) 障がいをもつ方から学ぼう<4年:総合的な学習の時間>  
 みんなにやさしい街づくりをテーマに学習を進めていく中で、パラスポーツであるゴールボールを体験し、視覚障がいのある人の立場になって考える活動を取り入れた。



しかいがかうはわれたら、ごんごにち、方向感かてを失うなして、来りまじひひした。  
 一試合目は、社会、線かわかちなくて、ボールから分かんなくて、ごらんじやうたいてひした。それは、人は、ほとんど、しかいから、ごんごをえいてるといひてひました。  
 これからは、もつと、目のふゆな人を、安全にくらせるようたいてひます。



音たけでボールを取るは、むずかしいとこわい声です。

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全校集会を行い、オリンピックから話を聞いたことは、児童にとって大変貴重な経験となった。オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心が高まったとともに、自分の姿勢や体力を見直し、よりよい体づくりをしようという考えや、目標をもって努力を重ねていこうとする気持ちをもつことができた。</li> <li>○ 憧れのアスリートについて調べる中で、その人や競技の魅力に改めて気づき、将来の夢や未来の自分の姿を思い描くことにつながった。</li> <li>○ ゴールボールを体験したことで、パラスポーツに対する興味・関心が高まったとともに、様々な人の立場に立って物事を見つめたり、自分自身や周りの人のためにできることは何かを考えたりと、共生社会をつくっていく一員としての気持ちが芽生えてきた。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合的な学習の時間をベースに、様々な教科の学習と関連付けて行ったことで、オリ・パラ教育のねらいに迫る活動につながった。特に表現活動や体験活動を取り入れたことは、児童の興味・関心を向上させた。</li> <li>○ 小規模校のよさを生かし、全校児童がオリンピックの講演を聞くことができた。また、昼休みには自由に会話を楽しむなど触れ合いの時間を設定し、アスリートと間近に関わる経験を味わせた。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリンピック・パラリンピックの意義や歴史について詳しく調べたり、時事問題から自分なりの考えをもたせたりするなど課題設定によって、更に学習を深めることができたと思う。</li> <li>○ 目の前で講師に話をいただくことが、児童にとって何よりの学びにつながるが、人選や費用等の配慮が必要である。</li> </ul>

9来年度以降の 実施予定	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 運動委員会作成の体幹トレーニングチェック表を活用するなど、学んだことを生かしたり、運動する楽しさを感じさせたりしながら今後もよりよい体づくり活動を推進していく。</li><li>○ 障がいのある方だけでなく、支える立場の方（義肢装具士など）との交流活動も取り入れ、様々な視点から生き方について考えさせたい。</li></ul>
-----------------	---